



# 2024年9月期第2四半期 決算補足説明資料

2024年5月15日



## エグゼクティブサマリ

### 進捗率9割

2024/9期2Q累計で通期見通しの約9割に到達。大型の新增改築案件計上が影響。2Q累計営業利益は36%増加

### 予想据置

2024/9期通期は従来見通しを据置き。既に進捗率は高いが、下期は大型の新增改築案件売上を見込まず

### 一括保守

医療機器保守の当社一括受託サービスを本格化。負担減となる病院との相互メリットを追求。ターゲットは大規模病院

### ROE

現状は資本コストを下回る水準と認識。利益率と回転率の改善・引上げが課題



1

## 2024年9月期2Q決算実績



## 2024年9月期2Q経営成績①

- 2Q累計決算では対前年5%増収、36%営業増益。主力のメディカルトータルソリューション事業の売上伸長が貢献。一昨年水準には及ばないものの、大型の新增改築案件計上がなかった前年からは大幅な増益に。一方、遠隔画像診断サービス事業は委託単価の上昇、人件費負担などで営業減益
- 対通期見通しでは利益でおよそ9割の進捗率。ただし、期初想定から大幅な乖離なし。下期は大型案件計上なく、利益減少の見込み

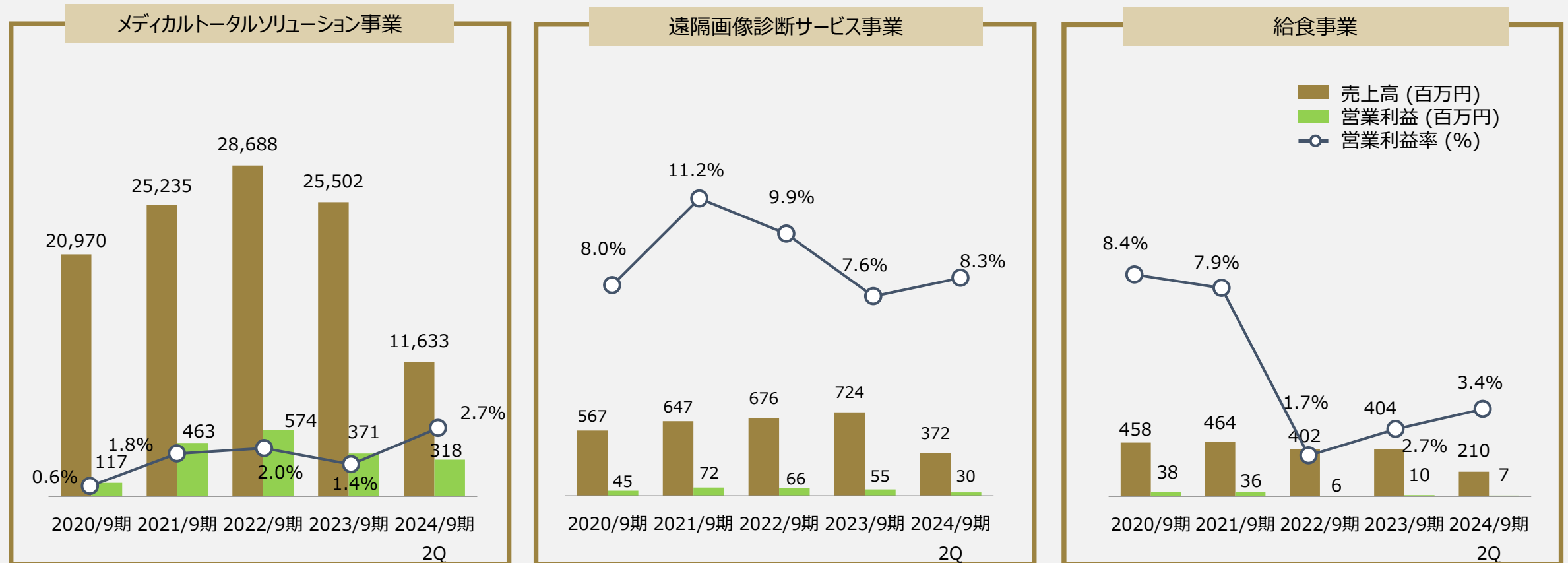
### 経営成績の推移

(百万円)	2022/9期 2Q実績	2023/9期 2Q実績	2024/9期2Q		2024/9期通期	
			実績	前年同期比 増減率	予想	進捗率
<b>売上高</b>	<b>18,756</b>	<b>11,662</b>	<b>12,216</b>	<b>+4.8%</b>	<b>24,000</b>	<b>50.9%</b>
メディカルトータルソリューション	18,225	11,095	11,633	+4.9%	22,848	50.9%
遠隔画像診断サービス	331	361	372	+2.9%	738	50.4%
給食	199	205	210	+2.8%	413	51.0%
<b>営業利益</b>	<b>771</b>	<b>263</b>	<b>357</b>	<b>+36.0%</b>	<b>400</b>	<b>89.5%</b>
メディカルトータルソリューション	724	218	318	+45.7%	344	92.4%
遠隔画像診断サービス	40	39	30	▲21.0%	48	64.0%
給食	4	4	7	+67.9%	5	134.0%
調整	1	1	1	+10.4%	1	76.9%
<b>経常利益</b>	<b>824</b>	<b>249</b>	<b>357</b>	<b>+43.6%</b>	<b>400</b>	<b>89.5%</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>545</b>	<b>143</b>	<b>220</b>	<b>+53.5%</b>	<b>260</b>	<b>84.9%</b>

# セグメント別業績推移

- メディカルトータルソリューション事業は利益率が大きく改善。好採算案件の売上計上が貢献
- 遠隔画像診断サービス事業では、売上堅調ながら、委託費単価上昇や人件費増が負担増に
- 給食事業は、価格見直しなど収益性改善への取組み効果が引続き発現。利益は低水準ながら安定的に推移

## 経営成績の推移





## 2024年9月期2Q経営成績②

- 2Q発生ベースでは、対前年、対1Qでいずれも増収を確保。遠隔画像診断サービスだけは対1Qで売上ほぼ横ばいとどまったが、メディカルトータルソリューション事業、給食事業ともに売上は拡大
- ただし、利益は対前年で減少。主力のメディカルトータルソリューション事業は増収ながら、新增改築案件は減収となり、利益率は低下

### 経営成績の推移

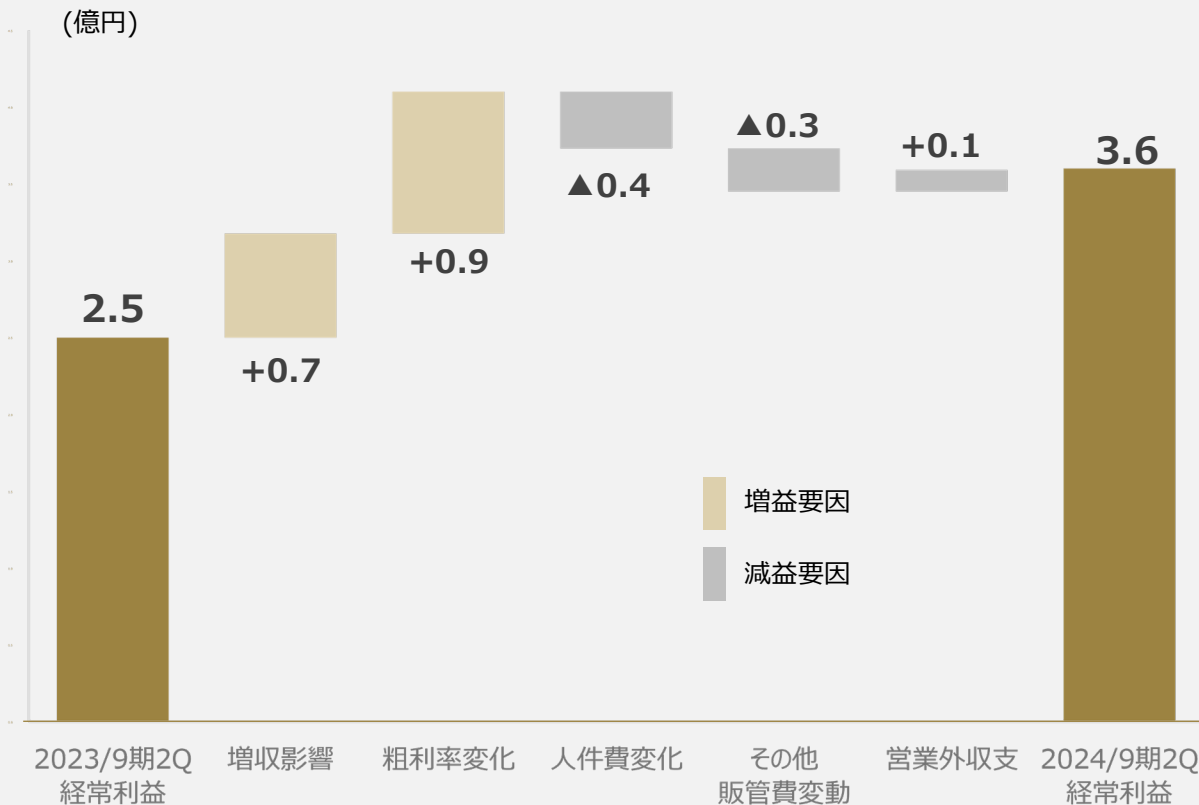
(百万円)	2022/9期				2023/9期				2024/9期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	<b>10,678</b>	<b>8,078</b>	<b>6,438</b>	<b>4,571</b>	<b>4,936</b>	<b>6,725</b>	<b>5,012</b>	<b>9,957</b>	<b>5,414</b>	<b>6,803</b>
メディカルトータルソリューション	10,404	7,821	6,169	4,293	4,650	6,444	4,733	9,674	5,124	6,509
遠隔画像診断サービス	172	159	171	173	180	181	178	184	186	185
給食	100	98	98	105	105	99	100	99	102	108
営業利益	<b>529</b>	<b>241</b>	<b>114</b>	<b>▲235</b>	<b>▲11</b>	<b>274</b>	<b>74</b>	<b>102</b>	<b>135</b>	<b>221</b>
メディカルトータルソリューション	499	226	97	▲247	▲34	253	58	94	117	200
遠隔画像診断サービス	26	14	15	10	20	18	11	6	15	15
給食	2	1	1	1	1	2	4	2	2	5
調整	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0



## 2024年9月期2Q 経常利益増減益要因分析

- 2Q累計の経常利益は対前年比で1.1億円の増益。増益を牽引したのは好採算大型案件の売上計上。増収効果に加え、前年の12.2%から13.0%に上昇した粗利率の改善効果が貢献
- コスト面では営業活動活発化に伴って交通費や人件費が増加。ただし、売上増・粗利率上昇で吸収し、全社では増益を確保

### 経常利益増減益分析



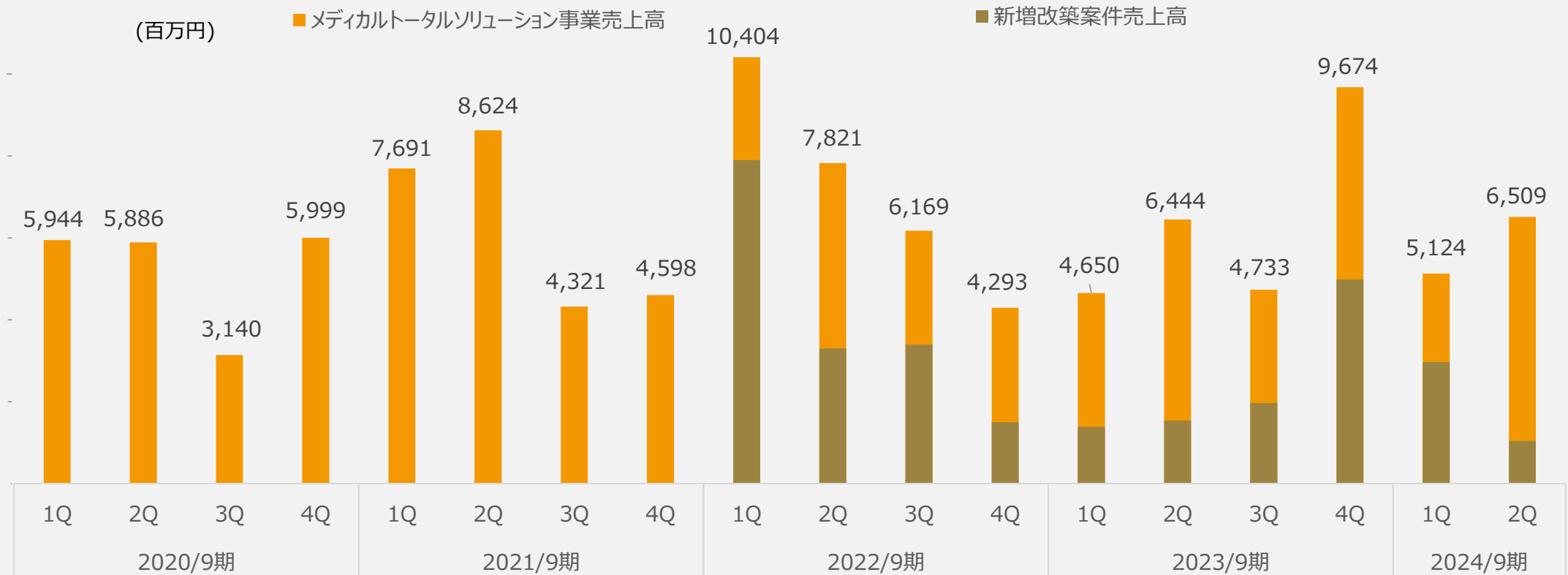
- 増収影響 +0.7億円
  - ・メディカルトータルソリューション事業における新增改築案件の売上増が影響
- 粗利率変化 +0.9億円
  - ・粗利率は0.8ポイント改善 (12.2%→13.0%)
  - ・採算重視方針に伴う好採算案件の計上
  - ・当社サービスの付加価値が評価される案件増加
- 人件費変化 ▲0.4億円
- その他販管費変動 ▲0.3億円
  - ・交通費/販売費/手数料 ▲0.1億円
  - ・業務委託費他 ▲0.1億円
- 営業外収支 +0.1億円



## メディカルトータルソリューション事業売上推移

- 主力のメディカルトータルソリューション事業の売上は、対1Qで増加したものの、狩猟型ビジネスの主戦場となる新增改築案件では対1Qで大きく減少。2Qは単価20億円超となる大型案件がなかったことが影響
- 代わりに急伸したのはその他機器。顧客である病院の決算時期に伴って売上が増加

### メディカルトータルソリューション事業売上推移



注) 2021/9期以前の新増改築案件売上は非開示

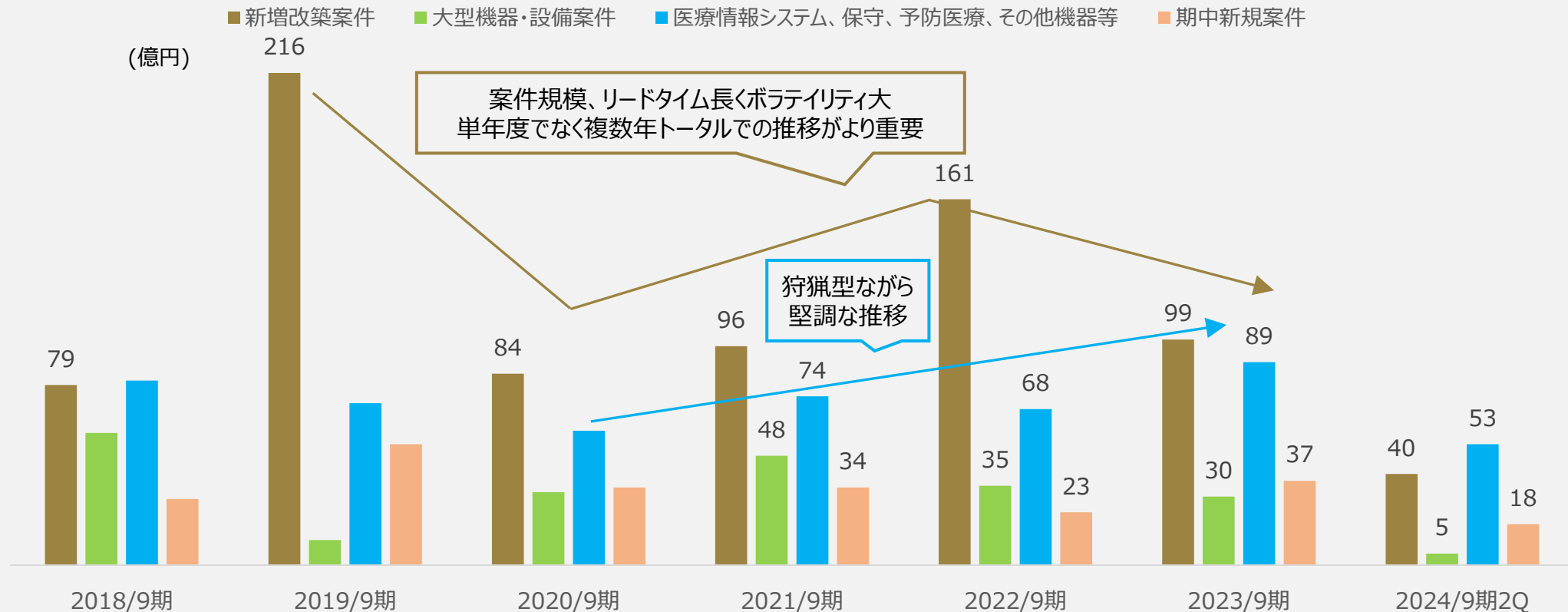




# メディカルトータルソリューション事業売上内訳推移

- 2Q累計実績ではシステム/保守/予防医療/その他機器等のカテゴリーにおけるその他機器の売上が好調に推移。四半期発生ベースでは過去最高を更新し、前年実績を上回るペースで売上は成長
- 一方、新增改築案件は2Qに入ってややペースダウン。先行指標たるトータルパックシステムの受注は堅調ながら、まだ新增改築案件の売上増には時間を要する見通し

## メディカルトータルソリューション事業売上内訳



注：分類再集計により2022/9期実績数値を遡及修正



## 2024年9月期2Q 貸借対照表

- 前期末比較では総資産がやや縮小。ただし、前期末に残っていた売掛金、買掛金の相殺解消が進んだため。内容面で大きな変化はない。2Q末時点のネットキャッシュは59億円、2Q末の自己資本比率は42.2%。
- 潤沢なキャッシュは商社金融やM&Aなどへの活用を進める方針

### 財政状態の推移

(百万円)	2021/9期	2022/9期	2023/9期	2024/9期2Q	前期末比差異
<b>流動資産</b>	<b>11,755</b>	<b>12,232</b>	<b>13,508</b>	<b>12,328</b>	<b>▲1,180</b>
現預金	5,408	5,480	5,537	5,935	+398
受取手形・売掛金/契約資産	4,820	4,360	7,796	6,190	▲1,605
棚卸資産	188	24	21	27	+5
その他	1,337	2,368	153	175	+21
貸倒引当金	▲0	▲0	▲1	▲1	+0
<b>固定資産</b>	<b>1,209</b>	<b>1,235</b>	<b>1,185</b>	<b>1,199</b>	<b>+14</b>
<b>総資産</b>	<b>12,964</b>	<b>13,468</b>	<b>14,693</b>	<b>13,527</b>	<b>▲1,166</b>
<b>負債</b>	<b>7,805</b>	<b>7,930</b>	<b>8,969</b>	<b>7,653</b>	<b>▲1,316</b>
買掛金	4,890	3,960	7,620	5,992	▲1,627
有利子負債	127	92	2	2	▲0
その他	2,788	3,876	1,347	1,658	+311
<b>純資産</b>	<b>5,159</b>	<b>5,537</b>	<b>5,724</b>	<b>5,874</b>	<b>+150</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,964</b>	<b>13,468</b>	<b>14,693</b>	<b>13,527</b>	<b>▲1,166</b>



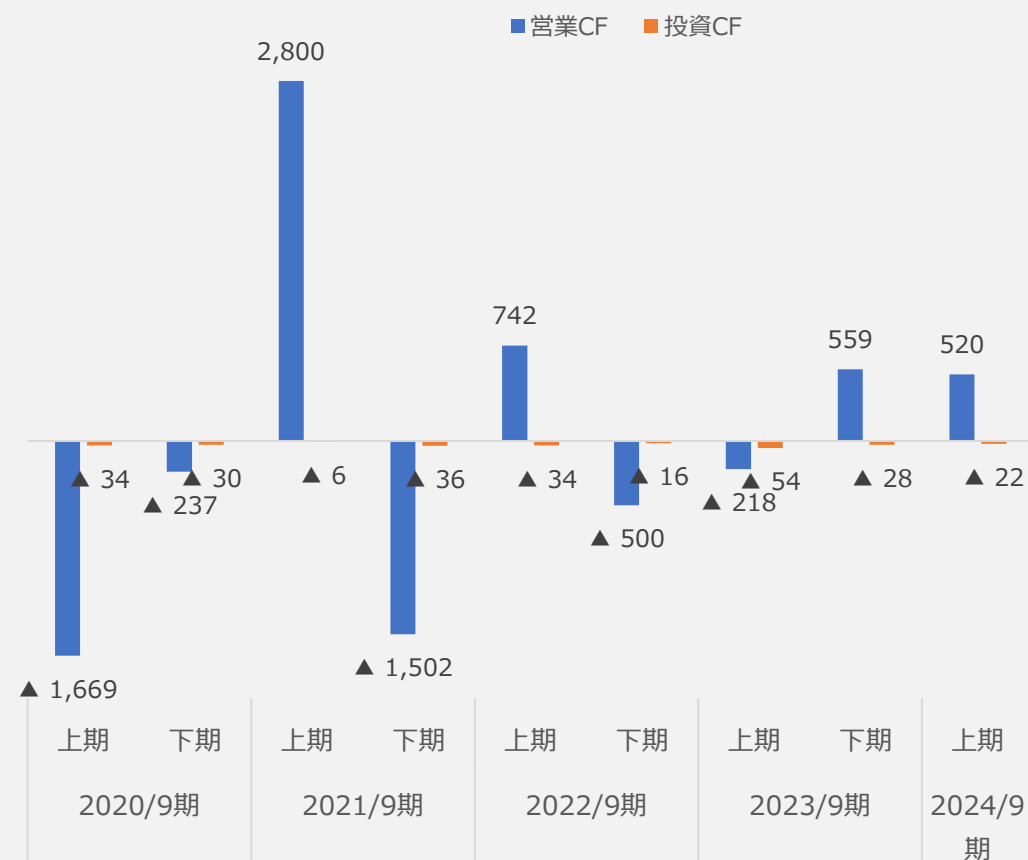
## 2024年9月期2Q キャッシュフローの状況

- 2024/9期2Q累計のFCFは5.0億円の黒字
- 追加的な運転資金負担の発生が限定的となったうえ、一時的ながら税金負担が軽減

### キャッシュフローの推移

(百万円)	2022/9期	2023/9期	2024/9期 2Q
営業CF	242	341	520
税前当期純利益	689	431	357
売上債権/仕入債務増減	▲469	223	▲21
その他	21	▲313	184
投資CF	▲49	▲82	▲22
FCF	192	259	497
財務CF	▲120	▲202	▲99
有利子負債の純増減	▲36	▲94	▲0
株式の発行による収入	—	—	3
その他	▲84	▲108	▲102

\* FCF=営業CF+投資CF で算出





2

## 2024年9月期決算見通し



## 2024年9月期業績見通し

- 2024/9期通期は従来見通し据置き。2期連続の減収減益を想定。上期時点で通期利益想定への進捗率は約9割に達しているものの、下期は大型の新增改築案件売上を見込まず、対上期では調整を想定。現時点では期初想定通りの展開
- セグメント別でも、従来想定を据置き。主力のメディカルトータルソリューション事業は想定通りの売上見通しながら、大型の好採算案件減少から営業減益

### 経営成績の推移

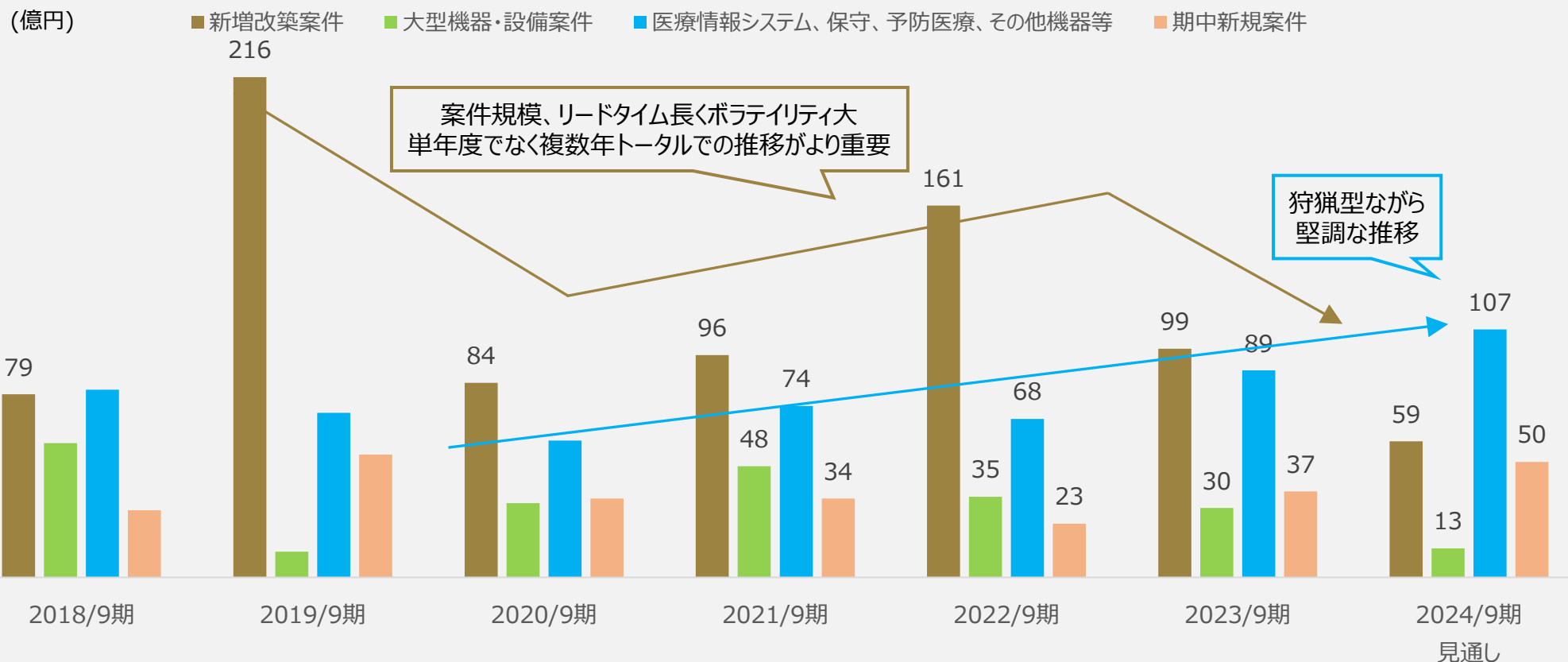
(百万円)	2021/9期 実績	2022/9期 実績	2023/9期 実績	2024/9期 見通し	比較	
					前年比 増減率	前年比 差異
<b>売上高</b>	<b>26,347</b>	<b>29,767</b>	<b>26,632</b>	<b>24,000</b>	<b>▲9.9%</b>	<b>▲2,632</b>
メディカルトータルソリューション	25,235	28,688	25,502	22,848	▲10.4%	▲2,654
遠隔画像診断サービス	647	676	724	738	+1.9%	+13
給食	464	402	404	413	+2.1%	+8
<b>営業利益</b>	<b>576</b>	<b>650</b>	<b>440</b>	<b>400</b>	<b>▲9.1%</b>	<b>▲40</b>
メディカルトータルソリューション	463	574	371	344	▲7.1%	▲26
遠隔画像診断サービス	72	66	55	48	▲13.1%	▲7
給食	36	6	10	5	▲50.7%	▲5
調整	3	2	2	1	▲37.4%	▲0
<b>経常利益</b>	<b>595</b>	<b>709</b>	<b>431</b>	<b>400</b>	<b>▲7.3%</b>	<b>▲31</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>390</b>	<b>437</b>	<b>271</b>	<b>260</b>	<b>▲4.2%</b>	<b>▲11</b>



## メディカルトータルソリューション事業 売上内訳推移

- メディカルトータルソリューション事業の売上内訳も従来想定を継続。新增改築案件の売上減少に対し、医療情報システム/保守/予防医療などIT展開イニシアティブを担う領域の売上は拡大継続を予想
- なお、IT展開イニシアティブ領域では、一括保守ビジネスの拡大に向けて営業体制を強化

### メディカルトータルソリューション事業売上内訳



C注：分類再集計により2022/9期実績数値を遡及修正



## 新增改築案件 予想前提

- 2024/9期の新增改築案件の売上想定は前期比4割減の59億円の見通し。このうち、20億円超の大型案件は1Qで計上済であり、2Q以降は比較的小規模な案件の計上を見込む。
- 新增改築案件の売上は、2Q累計で40億円に到達。現想定ベースでは、3Q以降の売上は19億円程度となる見通し

### メディカルトータルソリューション事業における病院新增改築案件向け医療機器一括販売の推移

(百万円)		2021/9期	2022/9期	2023/9期	2024/9期 見通し	前期対比
20億円以上	売上高	4,739	9,877	2,296	3,088	+792
	件数	2	3	1	1	±0
	平均単価	2,369	3,292	2,296	3,088	+792
10億円以上	売上高	1,476	3,995	3,594	-	▲3,594
	件数	1	3	3	-	▲3
	平均単価	1,476	1,332	1,198	-	▲1,198
10億円未満	売上高	3,395	2,180	3,984	2,782	▲1,202
	件数	11	6	13	12	▲1
	平均単価	308	363	306	231	▲75
合計	売上高	9,611	16,054	9,874	5,870	▲4,004
	件数	14	12	17	13	▲4
	平均単価	686	1,338	580	451	▲129
事業売上に占める一括販売比率		38.1%	56.0%	38.7%	25.7%	▲13.0pt

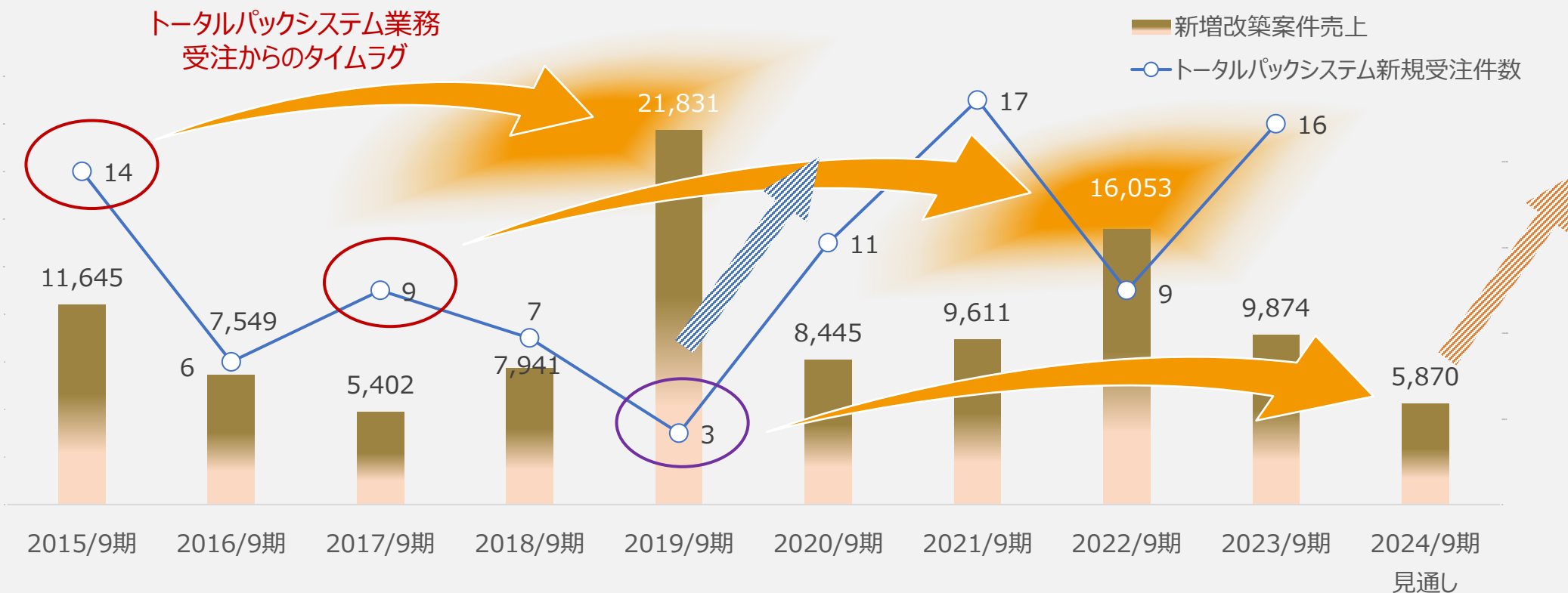


## 新增改築案件の先行指標

- 過去10期を見ると、トータルパックシステム受注が数期のタイムラグを経て新增改築売上に反映される傾向がうかがえる
- この傾向に変化がないとすれば、2020/9期よりトータルパックシステム受注件数は増加に転じており、新增改築案件の売上也再拡大局面を迎える可能性は高いと期待

### メディカルトータルソリューション事業とトータルパックシステム受注件数との関係

(百万円)





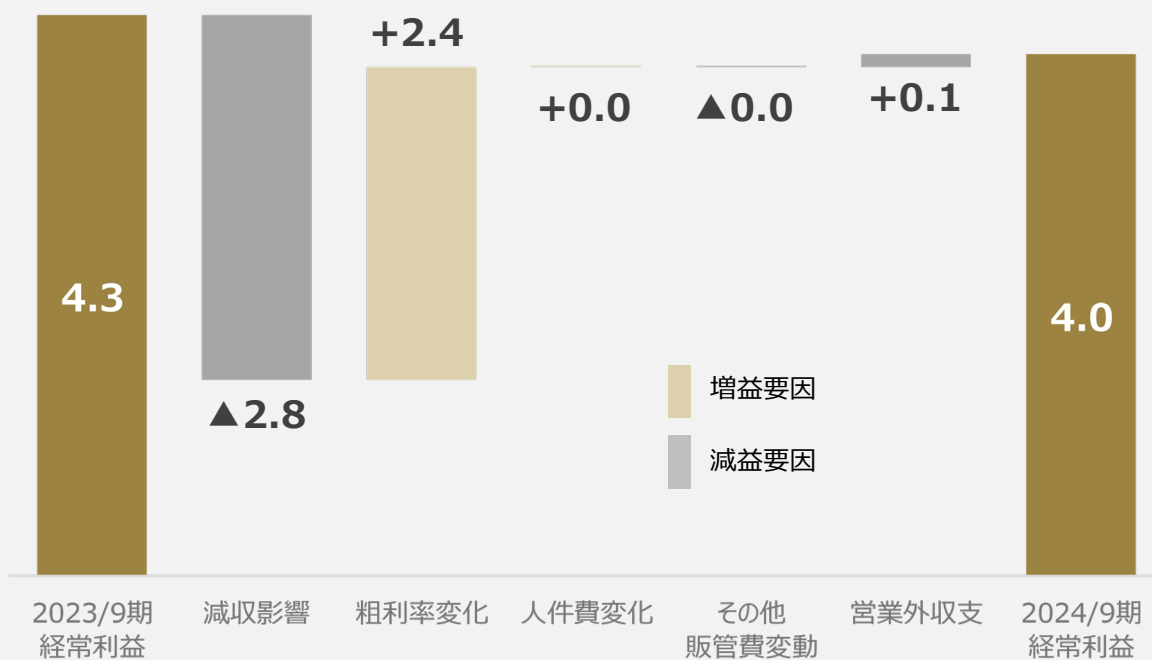


## 2024年9月期想定増減益分析

- 減益となる主たる要因は、引き続きメディカルトータルソリューション事業を中心とした売上の減少。深掘営業の追求によって粗利率の改善なども継続的に寄与するものの、減収影響はカバーできないと想定
- コスト面ではほぼ前年並みを想定。営業外収支では前期に計上したコミットメントライン設定手数料の消失が寄与

### 経常利益増減益分析

(億円)



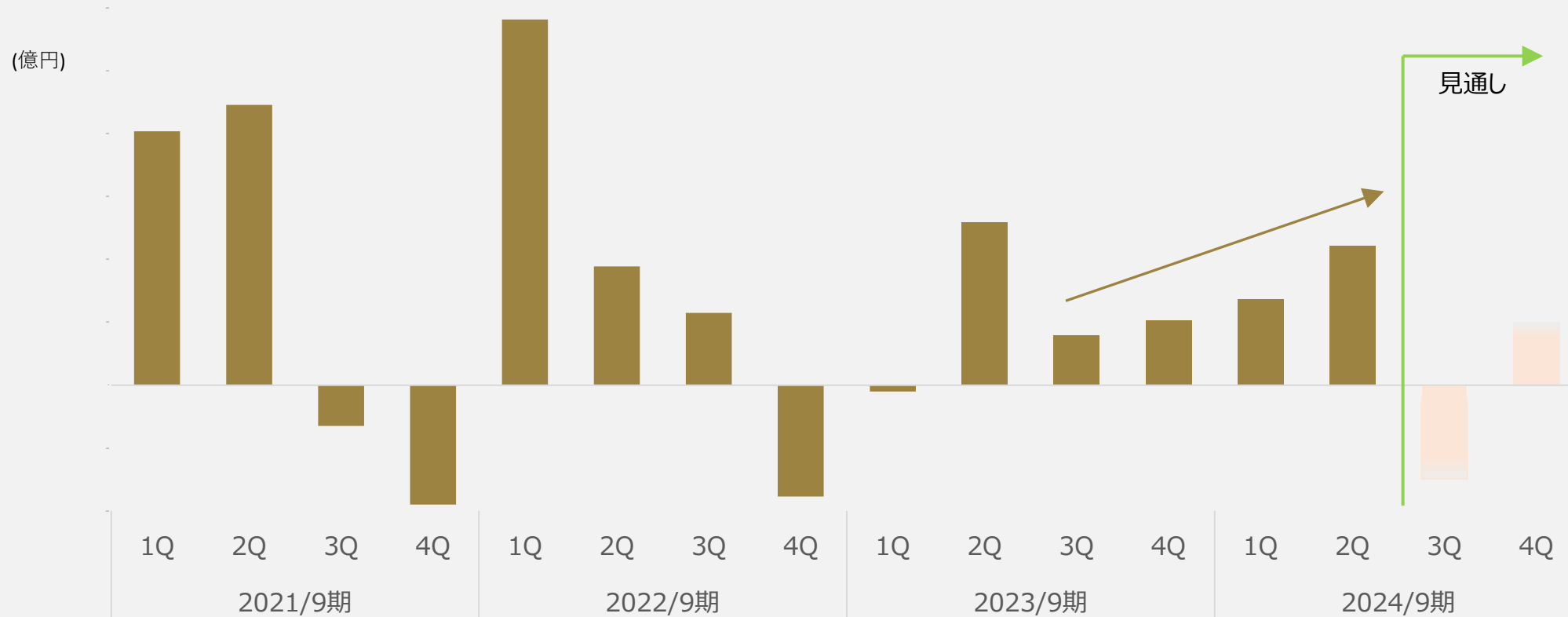
- 減収影響 ▲2.8億円
  - ・メディカルトータルソリューション事業の減収が影響
  - ・ただし、ストック的ビジネスの積上げは着実に伸長
- 粗利率変化 +2.4億円
  - ・深掘営業追求に伴う付加価値増を想定
  - ・ストック的ビジネス増による構成変化
- 営業外収支変動 +0.1億円
  - ・コミットメントライン設定手数料減少 +0.2億円



## 2024年9月期四半期別経常利益想定

- 2Q決算まで、経常利益は3四半期連続で改善
- ただし、3Qは案件売上が一時的に一巡するため、四半期ベースでは赤字計上も否めない展開に。これらは期初より想定してきたことでもあり、短期的に一旦足踏みになる見通し

四半期別経常利益の推移





3

# トピックス



# トピックス

- 1 一括保守ビジネスの強化戦略
- 2 ROE改善への取組
- 3 資本コストや株価を意識した経営（アップデート）



## トピックス1：一括保守ビジネスの強化

### 一括保守ビジネスとは・・・

病院向けに個々の**医療機器保守**を当社が**一括して受託**し、**医療機器管理業務の効率化**を提供

**当社の狙い**：

1. 保守契約による**ビジネス機会の獲得**
2. 顧客課題解決による**関係強化**
3. 現預金を**商社金融**として活用
4. 将来案件の**早期発掘・獲得**、付随ビジネスの**拡張**に向けての**展開力確保**

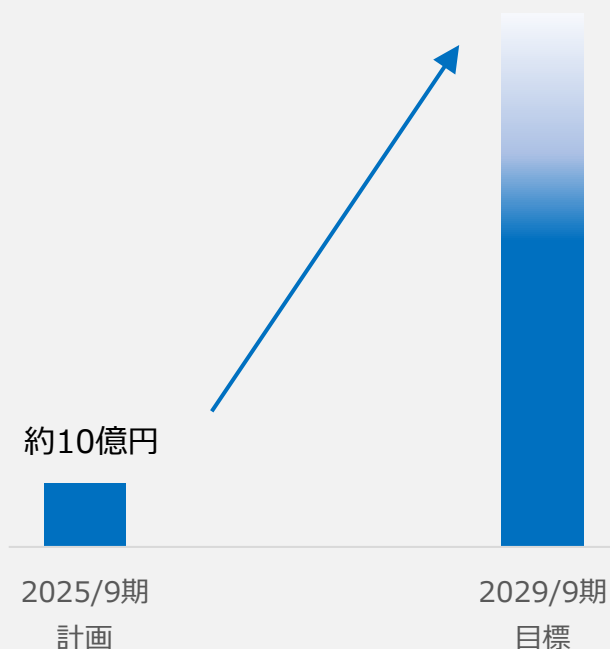
**顧客のメリット**：

1. 機器保守管理業務の**人的・資金的負担の軽減**
2. メンテナンス・修理を含めた**予算の平準化**
3. **資金余力の発生**、**経営選択肢の増大**

**ターゲット**：200床以上の規模を有する**大規模病院**（全国に約1,900院存在）

**営業体制**：専門スタッフを配置。同時に、全営業人員による**広範な顧客へのファーストアプローチ徹底**

### 一括保守ビジネス売上想定





## トピックス2：ROE改善への取組み①

2023/9期実績

ROE  
**5%**

=

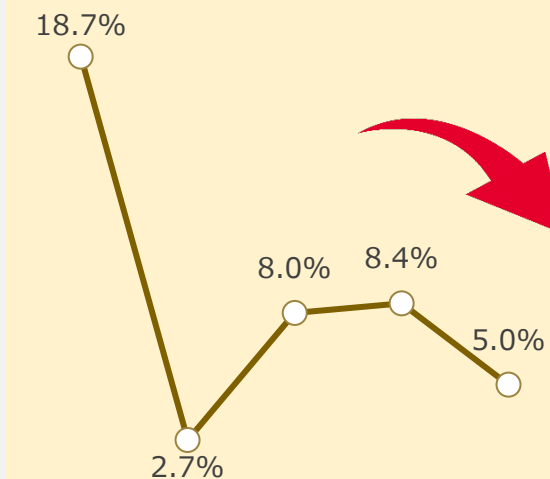
売上高利益率  
**1%**

×

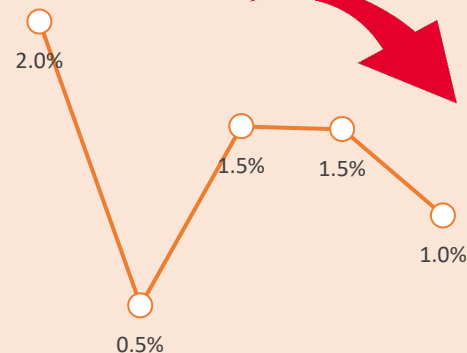
総資産回転率  
**181%**

×

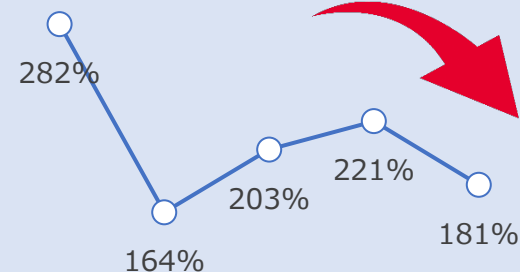
財務レバレッジ  
**258%**



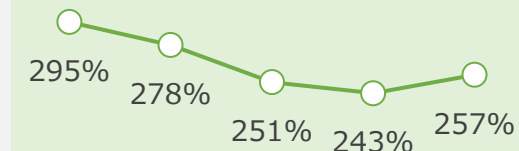
2019/9期 2020/9期 2021/9期 2022/9期 2023/9期



2019/9期 2020/9期 2021/9期 2022/9期 2023/9期



2019/9期 2020/9期 2021/9期 2022/9期 2023/9期






2019/9期 2020/9期 2021/9期 2022/9期 2023/9期

ROE5%は資本コストを下回る水準と認識。  
利益率と回転率の改善・引上げが課題



## トピックス2 : ROE改善への取組み②

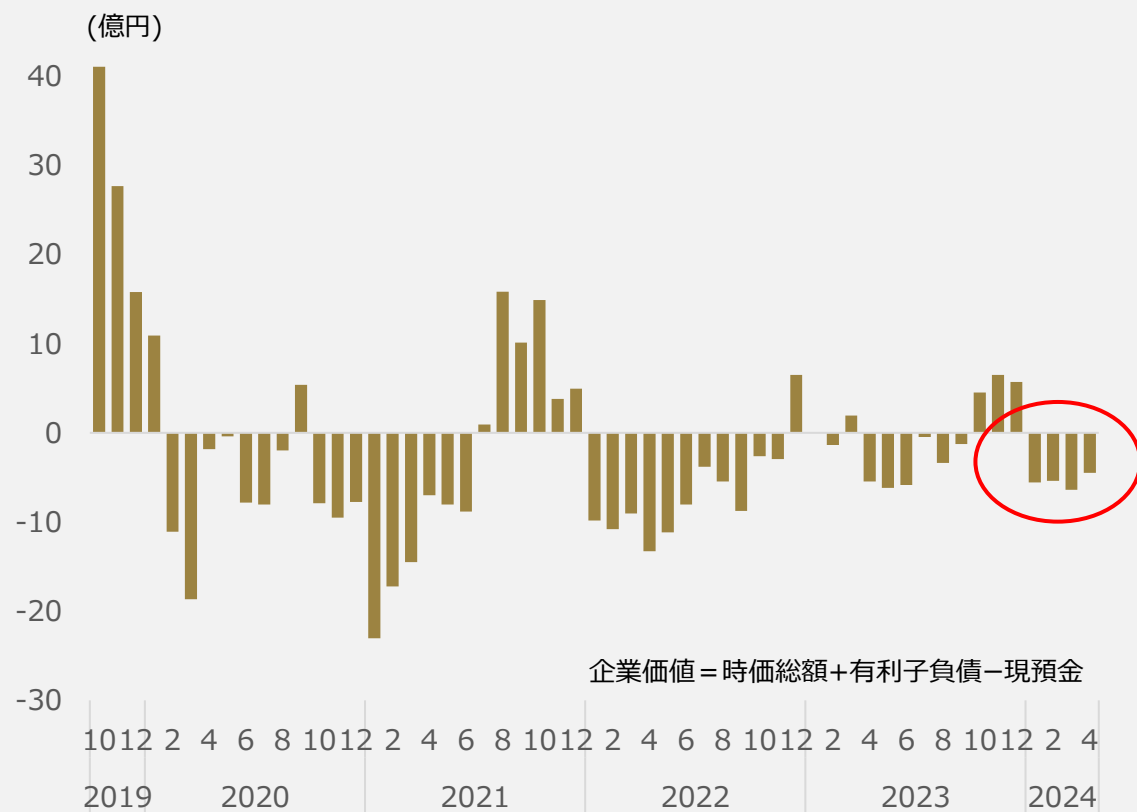
KPI	2023/9期 実績	目指す方向	主たる施策	進捗状況
売上高利益率	1%		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ トータルパックシステム獲得強化</li> <li>✓ 採算重視の営業強化</li> <li>✓ IT関連ビジネスの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 営業人員強化/専門部署による<b>新規案件アプローチの強化</b></li> <li>✓ <b>ITイニシアチブ領域</b>への注力方針策定</li> <li>✓ <b>一括保守ビジネス専門チーム立上</b></li> </ul>
総資産回転率	181%		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 商社金融の活用</li> <li>✓ 関東圏への注力</li> <li>✓ M&amp;A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>一括保守ビジネス</b>において商社金融の活用展開を検討</li> <li>✓ <b>関東拠点への人材配置</b></li> <li>✓ 経営企画室強化</li> </ul>
財務レバレッジ	258%		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 株主還元の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 安定配当重視から<b>現行水準を事実上の最低配当</b>と設定</li> <li>✓ 目途とする<b>配当性向を20~30%</b>に引上げ</li> </ul>



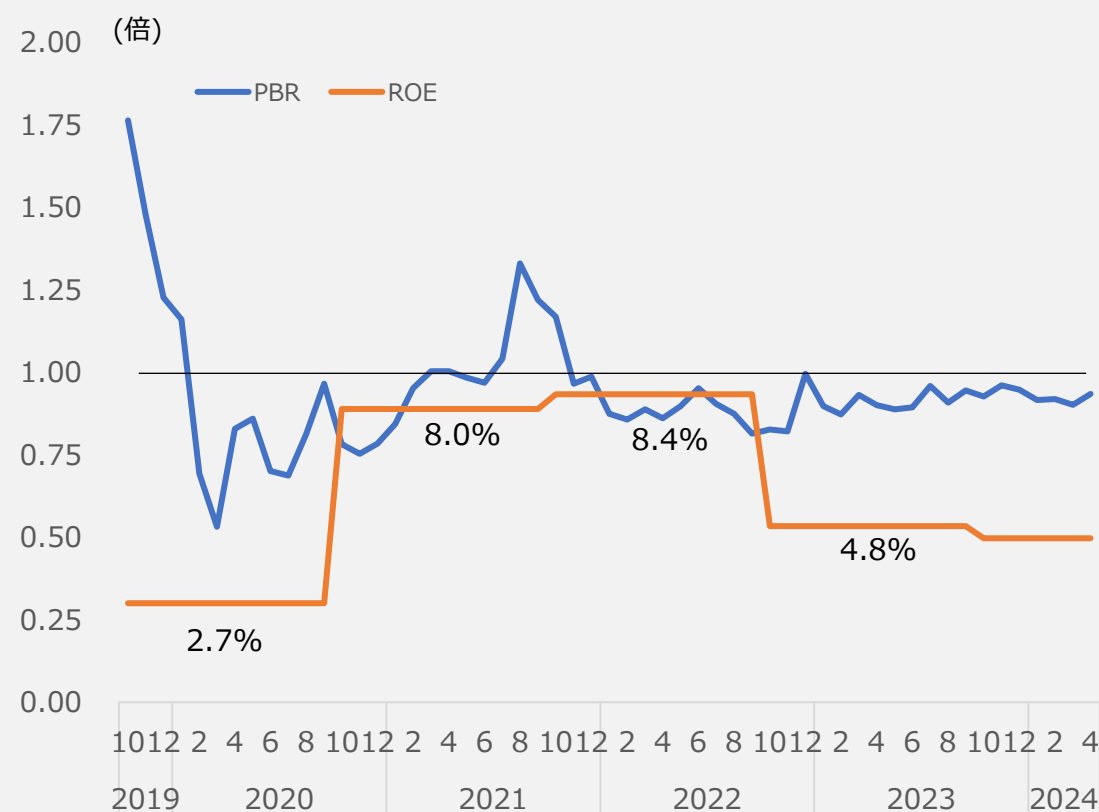
## トピックス3：資本コストや株価を意識した経営（アップデート）

- 直近で黒字に浮上していた企業価値は再びマイナスに下落。キャッシュの積み上がり速度に時価総額が追い付いていない
- PBRは1倍をやや下回る水準で推移。引続き、ROE改善に向けての成長戦略発信を強化継続。同時に、キャッシュの積極活用やコーポレート・ガバナンス強化などで資本コストを引き下げる努力を推進

### 企業価値の推移



### PBRとROEの推移







# 業績・財務ハイライト

決算年月		2019年9月	2020年9月	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期 2Q
売上高	(千円)	36,109,029	21,996,890	26,347,156	29,767,431	26,632,145	12,216,679
経常利益	(千円)	1,184,035	207,244	595,939	709,660	431,662	357,958
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	732,959	120,839	390,983	437,051	271,306	220,708
包括利益	(千円)	735,628	141,111	427,266	467,209	294,367	249,718
資本金	(千円)	331,507	536,169	539,369	539,369	539,369	540,969
発行済株式総数(自己株式を含む)	(株)	1,784,000	1,954,400	1,960,800	1,960,800	1,960,800	1,964,000
純資産額	(千円)	4,340,511	4,817,569	5,159,691	5,537,971	5,724,103	5,874,485
総資産額	(千円)	12,814,634	13,414,303	12,964,840	13,468,183	14,693,938	13,527,919
1株当たり純資産額	(円)	2,376.58	2,408.78	2,567.33	2,746.25	2,839.00	2,908.78
1株当たり配当額	(円)	40.0	45.0	40.0	50.0	50.0	-
1株当たり当期純利益	(円)	411.31	62.51	199.92	222.90	138.37	112.46
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	(円)	-	61.85	198.33	221.52	137.52	111.78
自己資本比率	(%)	33.0	35.1	38.8	40.0	37.9	42.2
自己資本利益率	(%)	18.7	2.7	8.0	8.4	5.0	3.9
配当性向	(%)	9.7	72.0	20.0	22.4	36.1	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	2,764,536	▲1,906,273	1,298,076	242,357	341,555	520,815
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲91,784	▲63,598	▲42,129	▲49,958	▲82,011	▲22,856
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲213,022	238,372	▲298,007	▲120,931	▲202,311	▲99,632
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	6,162,281	4,430,782	5,388,721	5,460,189	5,517,421	5,915,747
従業員数	(人)	155	157	162	175	176	171
(外、平均臨時雇用者数)	(人)	(39)	(54)	(58)	(62)	(62)	(61)



## ご留意事項

当資料は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料に記載されている内容は、当資料発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動によって、記載の業績予想等と異なる結果になる可能性があります。実際に投資を行う際のご決定は、必ず投資家ご自身の判断に基づきなされるようお願いいたします。

株式会社レオクラン  
経営企画室 IR担当  
TEL : 06-6387-1554  
Email : ir-support@leoclan.co.jp